

企業を訪ねて15

株式会社タナベ（熱とFAのトータルシステムエンジニアリング）

■「人と地球にやさしいものづくりをめざして」

平成31年2月14日（木）、糸魚川市の株式会社タナベの代表取締役社長の田辺郁雄氏をお訪ねし、事業の仕組みや地域連携に懸ける思いについて伺いました。



田辺 郁雄 代表取締役社長

聞き手：古口日出男 副学長（地域産学交流センター長）
◆日頃は何かご支援を賜り、謹んでお礼申し上げます。初めに、貴社の理念やものづくりへの想いについてお聞かせいただければと思います。

田辺氏◇私たちの会社は、「創る喜びをしよう」、「挑戦の意欲をしよう」、「持続の根性をしよう」を行動指針としています。自己革新の気概を持ち、挑戦の意欲を持って積極的に行動することが大事であると思いますし、ものづくりは国の根幹と変わらないと感じています。

創業時は土木・建設・製造を行っていて、産業構造の変化に伴い、溶融炉等の事業を行うようになりました。時代に応じた様々な工業炉を手掛け、常にチャレンジして来たこととなります。事業形態は、受注生産のため、お客様のニーズにより設計・製造・試運転等を経て納品という形になります。お客様からの仕様に基づいて忠実に製造するわけですが、お客様が何に使うための物なのか、なぜ指定の材料を使うのか等、肝心なところの情報については、企業から得ることは難しいところもありますので、その技術を次の事業展開に十分に活かさないところが当社としてもはがゆい部分でもありました。であれば、NEDOのような補助金を活用すれば、自社試作に取り組むことができますし、様々な材料のテストデータを基にノウハウを蓄積することができます。それらを基盤に、産業界の動向を踏まえてリサイクル部門を立ち上げ、施設設備を拡充して今までにない技術を創生するなど、新しい事業に繋げていくように心がけています。

◆昨年には経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定されていらっしゃいますね。

◇先進的な技術を取り入れて挑戦し続けているところが認められて選定されたのではないのでしょうか。新しいことを取り入れようとすると時には失敗もあります。失敗を失敗として認め、そこから“どうすればいいのか、どうすればできるのか”という視点を持ってものづくりをすることが大切であると思っています。

◆昨年の7月に糸魚川市と本学との連携に関する協定が締結され、ものづくり産業の振興やインターンシップなどの交流事業等で糸魚川産業界の皆様と連携を深めていきたいと考えています。本学に対して、また地域産

業界に対して期待することやご要望などがございましたらお聞かせください。

◇大学も立地地域や規模、研究分野等によって様々な立ち位置があると思います。大都市圏の小規模な単科大学ですと、近くには国立の名門大学もありますし、有名な私立大学も多くあります。そのような大学と同じようなやり方で地域産業界と連携を築いていくには限界があると思います。小さな大学は、近隣の複数の単科大学等と連携して地域産業界との事業のスキームを創り、成功しているケースもあります。小さな大学であるからこそ、フットワークを軽くして産業界と関わり、その大学の特色をどのように社会に貢献していく取組みとして築いていけるかが大事になると思います。

新潟県には、魅力ある企業が多くあると思います。化学産業、樹脂関連の企業が集積している地域もありますし、機械金属加工は県央地域が盛んで、農業や米菓製造企業なども多くあります。新潟工科大学を基軸にした場合、近い距離の中越や上越地域を初め、下越地域も含めて多くの企業と連携し、各企業の持っているポテンシャルをどう組み合わせ、次の進化につなげていくかが大事になると思います。そういうスキームを大学が取り入れて確立していけば大きな事業展開ができ、複合企業体になれば地域に新しい技術が生まれ、産業界・地域が発展するのではないかと思います。このような連携をしなければ地域企業は生き残っていけないとも感じています。その仕組みを確立して事業を展開していくことが大学の強みになると思います。

昨今は金融業界の統合が行われていますが、大学等の教育研究機関の再編も進むと思います。その中で地方の単科大学がどういう役割を担い、理工系であること、新潟に立地していることをどう考え、どう強みにしていくかがポイントになると思います。新潟の地域性を考慮し、インダストリーマップを作り、テクニカルハブのイメージの機能を持つことが大事になると思います。

また、企業の研究資金の確保も重要になると思います。今の補助金の取り方にしてはスキームにしても、今までは国からの比較的大きな資金の多くは大企業が受入れ、中小企業は大企業経由でないと資金が廻らない形式も多かったようにも感じますが、企業の規模を問わず、事業の仕組みや成果の見込みを評価するなどして、これからは中小企業が注目されることが多くなると思います。地域社会や産業界に何が必要かという視点が大事だと思いますので、製造や建設等の分野にAI・IoTなどの先進技術を融合し、社会のニーズに応えていかなければならないと感じています。

◆学生たちや若者に求めることや期待することがございましたらお聞かせください。

◇何事にも熱い想いを持って取り組むことが大事だと思います。夢を持ち、それを実現するという強い気持ちを持っていただきたいと思います。若者の発想や能力がこれからの産業界や社会の発展に繋がることを期待しています。

◆大変貴重なお話を伺うことができました。また工場も見学させていただき誠にありがとうございました。